

氏名

近 藤 泰 紘

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 乙 第 5 6 7 号

学 位 授 与 の 日 付 昭 和 48 年 9 月 30 日

学 位 授 与 の 要 件 博 士 の 学 位 論 文 提 出 者
(学 位 規 則 第 5 条 第 2 項 該 当)学 位 論 文 題 目 Scanning Electron Microscope Observation of the
Fine Vascular Distribution in the Synovial Membrane
of the Dog Knee Joint
(走査電子鏡によるイヌの膝関節滑膜の微細血管分布の観察)

論 文 審 査 委 員 教授 大 内 弘 教授 大 塚 長 康 教授 田 中 早 苗

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

滑膜の微細血管分布を立体的に観察するために、イヌの膝関節滑膜血管にメチルメタクリレートを注入することにより作成した滑膜内微細血管の樹脂鋳型を走査電子鏡で観察した。

1. 線維性関節包をおおう滑膜はそれ自体独自の血管系をもち、線維性関節包内との連絡はない。
2. 滑膜の血管床には、その関節内の部位により、ループ状、網状などの種々のパターンの毛細管網がみとめられた。
3. 滑膜の軟骨境界部では、滑膜血管は特有のループ状の毛細管で終り、しかもその径は他の部より著しく大きい。
4. 滑膜絨毛の血管形態にも、よじれた網状、平らな網状、樹枝状などの種々のパターンがみとめられた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、関節病変の主要な座の一つである滑膜について、その正常な血管分布を走査電子鏡によって研究したものであるが、滑膜血管床が線維性関節包のそれとは独立していること、軟骨との境界部に特有の血管ループがあること、その他滑膜の微細血管構築に関して重要な知見を得た業績である。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。